

2014（平成26）年度 東京大学 入試問題 第4問（文系） 解答例

- 一 初対面の人と向かい合うとき、自分が思いもよらない事柄に関心を持って生きる人の存在を直接知らされ、面白いということ。
- 二 未知の本のページに未知の言葉を見出すように、日常と異なる未知の事物や人間から、未知の内容が読み取られるということ。
- 三 日常の各瞬間に脳裏に浮かぶ曖昧な内容を、その都度明確に言語化すると、表現自体によって元の内容が失われるということ。
- 四 詩の言葉を読むように、人の話や事物に心惹かれれば、未知の内容への確かな疑問が次々と生じ、想像が喚起されるということ。